

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ひまわり		
○保護者評価実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業所向け自己評価表作成日	年 月 日 2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スポーツを通じて身体を動かすトレーニング、礼儀作法を身につける	子供達に目標をもたせ、出来た時は職員・子供達全員でほめる	子供達が物事にまよわずのな、様職員で新しい発着トレーニング、礼儀作法を考える
2	保護者と職員とのヒヤリングで子供の本質や特性に合わせた個別療育を行う	日々朝礼で子供達の様子、保護者との連絡ノートによる打合せその子に合った個別療育を行っている	保護者会を年1回~2回行う様にす
3	ソーシャルスキルトレーニングを行う	よいさつ、礼儀作法を職員が率先して行い、子供達にまねか出せる様に支援している	ことばか出ない子供には、手招きで支援を行う様にす

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や地域での交流が少ない	保護者アンケートを用いて希望者が多い場合は取り入れるべきだ	交流の機会を作る
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 放課後児童デイサービス ひまわり

公表日 2025年2月22日

利用児童数 2025年2月20日

調査員 12名

評価項目	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	正正 T					
	2 職員の数等は適切であると思いますか。	正一	F		T		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく簡潔化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	正正一		-			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	正正 T					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	正正T					
	6 事業所が公費している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	正正			T		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	正正T					子どもの得意なことは伸ばし 苦手なことはトレーニングの 機会を与えて頂き感謝してま
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	正正一	-		-		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	正正T					
	10 事業所の活動プログラムが定文化されないよう工夫されていると思いますか。	正正一			T		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	正		T	正		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	正正T					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	正F	T				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	正F	-	T	正		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	正正	-				
保護者 への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助産者の支援が行われていますか。	正正	T		-		
	17 事業所の職員から共通的に支援をされていると思いますか。	正正一					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだいの向けイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	-	-	T	正F		希望者だけ 長いと思う
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした後に迅速かつ適切に対応されているか。	正正T			-		連絡1つを通じ 相談できず悩ま ないで済む
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	正正T					日報がありがた い
	21 定期的に連絡やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	正正一			-		
22 個人情報等の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	正正一						
非常 時 の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	正正F			F		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、誘導等の非常時訓練が行われていますか。	正			正T		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	正正T					
	26 暴行等（虐待を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	正正T					
満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	正正T					
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	正正T					
	29 事業所の支援に満足していますか。	正正F					おやのたれが おもしろい もともと 好き

公表

事業所における自己評価結果 (職員5名・集計結果)

公表日 年 月 日

事業所名 児童発達支援放課後等サービス いほわり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	1Fに単身用のトイレを設けている	2Fに養育の場所あり階段が狭い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々取組で意見を伝える機会をもうけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		ユニバースと連携し業務改善を行っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月回明石子ども部会協議会に参加している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		日々保育士児童指導員が連携し保護者と話し合い	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		朝礼で前日の子供達の進捗支援について話し合い	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で年間・月間・週間支援計画を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		園の下の自治会に入会し避難誘導の連携を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録ノートと保護者と		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		日々進捗の際に子供の様子を確認している		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5		明石市子ども部会に参加している		
	31	(31は、事業所のみ回答)					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		メールでやり取りを行っている	保護者と会う機会が多い	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
	保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		連絡ノートで保護者とのやり取りを行っている	
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		学校、保育園との連携を行い、保護者と打合せ	
		39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			年1回から2回事業計画に交流機会を設ける

一 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	岡の下自治会に入会し自治会の活動に参加している	地域住民と年1回見学会とひろく採れる
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		明石市消防署にて防災訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年に2回避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		保護者からヒアリングを行い、子供の状況を把握している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	食料、おやつ提供は行なわないようにしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	送迎時に保護者と打合せを行い、連絡1点を伏用している	保護者と送迎時合点の場合は連絡1点に記載する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し朝礼で職員間で話し合っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			